

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

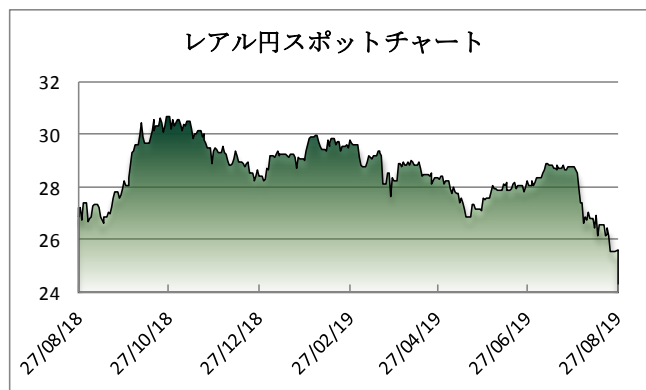
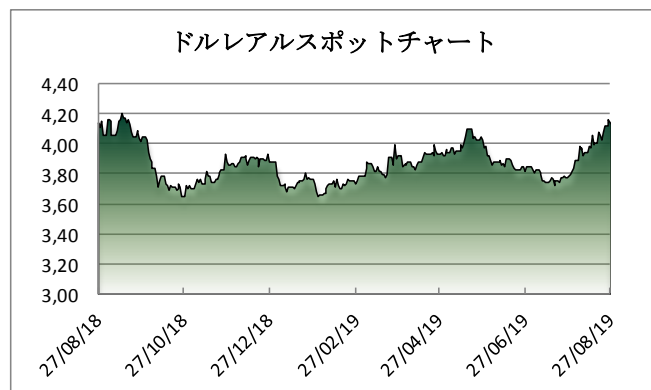
マーケットサマリー

昨日のドルレアル相場は、前日に中国側から通商協議の再開を求める電話があったというトランプ大統領の説明に対して、中国側は通商合意を強いる強引な戦術を改めるつもりが無いことを明言したため、午前中は株安・レアル安の展開。ドルレアルは4.20ドルに向かってレアル安に進行となり、ボベスパ指数は96,000台を切る水準まで低下した。午後に入り、ブラジル中銀が急遽SPOTでの介入を発表したことで、マーケットは素直に反応し、4.12台まで一気にレアル高が進行した。今回の介入により市中の金利が低下したため、先々のSelicの引下げ可能性があるとの見方も広がっている一方で、為替レートへの圧力の中で予想通りに金利を引き下げ続けるかどうか疑問を持つ投資家もあり、為替以外に金利の動向にも注視しておく必要があるだろう。米国では米中貿易対立の混乱によって米国10年債利回りは1.50%以下に低下しており、米国株も金融セクターを中心に一日をとおして下落した一方で、ブラジルではボベスパ指数は中銀の為替介入とペトロbrasの民営化に関する報道により、午後からは上昇に転じており、97,276ポイントと前日比+846ポイントで取引を終えた。アルゼンチンでは、今月実施された大統領選挙の予備選挙で勝利した野党党首のアルベルト・フェルナンデス氏が国際通貨基金(IMF)との融資協定について批判したことを受けて、アルゼンチン国債と米国債の利回り差が拡大。為替も8月中旬には1ドル62ペソであったものが茲許は55ペソ前後で推移していたが、56ペソ前半までペソ安が進行、まだまだ目が離せない状況が続きそうだ。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月26日	8月27日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,1569	4,1305	-0,64%	9,34%	3,6374	4,1941
	対円	JPY	25,54	25,59	0,20%	-11,04%	30,08	25,22
	対ユーロ	BRL	4,6136	4,5828	-0,67%	9,01%	4,1646	4,6508
円	対ドル	JPY	106,12	105,75	-0,35%	-2,70%	104,46	112,40
	対ユーロ	JPY	117,83	117,30	-0,45%	-3,02%	116,57	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	96.430	97.276	0,88%	-5,39%	106.650	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	140,90	141,21	0,22%	12,56%	209,52	124,06
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,37	7,41	0,54%	2,60%	9,34	7,15
DI Future Jan20 (金利先物)		%	5,44	5,48	0,64%	-2,06%	6,69	5,37
3 Months US Dollar Libor		%	2,14438	2,11738	-1,26%	-6,55%	2,8039	2,1238
CRB Index (国際商品指数)		Index	168,91	169,70	0,47%	-4,21%	189,68	167,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。